

M3T-NC30WA ご使用上のお願い --符号付き変数の符号反転について--

M16C/60, M16C/30, M16C/Tiny, M16C/20, M16C/10, および R8C/Tinyシリーズ Cコンパイラパッケージ M3T-NC30WA の使用上の注意事項を連絡します。

- 符号付き変数の符号を反転する場合の注意事項

1. 該当製品

M3T-NC30WA V.5.00 Release 1 ~ V.5.30 Release 1

2. 内容

符号付き変数が負の場合に符号を反転すると、不正なコードが出力される場合があります。

2.1 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) コンパイル時に、最適化オプション-O, -O1, -O2, -O3, -O4, -O5, -OR, および-OSのうちいずれかを指定している。
- (2) if文の制御式で、符号付き変数と0との大小比較を行っている。
- (3) (2)の変数は、signed char型、signed int型、または signed short型のいずれかである。
- (4) (2)の大小比較の結果が0より小さい場合に、(2)の変数の符号を反転させて、他の変数へ代入している。
- (5) (4)の条件において、該当の式のみ記述されている。

2.2 発生例

```
-----signed char  
s1,s2; /* 発生条件(3) */void func(void){ if(s1 < 0) /* 発生条件(2) */  
s2 = -s1; /* 発生条件(4)、(5) */}-----
```

-----上記の例では、条件文が成立しない場合でもs2が書き変わります。

3. 回避策

制御式の直後にダミーのasm関数を挿入ください。-----
-----signed char s1,s2;void func(void){ if(s1 < 0){
asm(); /* ダミーのasm関数を挿入 */ s2 = -s1; }}-----

4. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。
ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。